

JP3069026U**Publication number:** JP3069026U**Publication date:** 1991-07-09**Inventor:****Applicant:****Classification:**

- international: *E02B7/00; E02B8/00; E03F3/04; E04B1/61; E21D9/00; E21D11/08; E02B7/00; E02B8/00; E03F3/04; E04B1/61; E21D9/00; E21D11/08; (IPC1-7): E02B7/00; E04B1/60; E03F3/04; E04B1/61; E21D9/00; E21D11/08*

- european:

Application number: JP19890127842U 19891102**Priority number(s):** JP19890127842U 19891102[Report a data error here](#)

Abstract not available for JP3069026U

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

⑫ 公開実用新案公報 (U) 平3-69026

⑬ Int.Cl.

E 02 B	7/00
E 03 F	3/04
E 04 B	1/61
E 21 D	9/00 11/08

識別記号

府内整理番号

Z	8103-2D
Z	6541-2D
Z	6541-2D
	8103-2D

8913-2E

E 04 B 1/60

3 1 1 F

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑭ 考案の名称 ダム用監査廊の連結ユニット

⑮ 実 願 平1-127842

⑯ 出 願 平1(1989)11月2日

⑰ 考案者 成田 忠良 東京都中央区京橋1丁目7番1号 戸田建設株式会社内

⑰ 考案者 粟原 哲夫 東京都中央区京橋1丁目7番1号 戸田建設株式会社内

⑰ 考案者 川原 忠夫 東京都港区新橋1丁目8番3号 日本コンクリート工業株式会社内

⑰ 考案者 白岩 督啓 東京都港区新橋1丁目8番3号 日本コンクリート工業株式会社内

⑰ 出願人 戸田建設株式会社 東京都中央区京橋1丁目7番1号

⑰ 出願人 日本コンクリート工業 株式会社 東京都港区新橋1丁目8番3号

⑰ 代理人 弁理士 佐々木 功

⑲ 実用新案登録請求の範囲

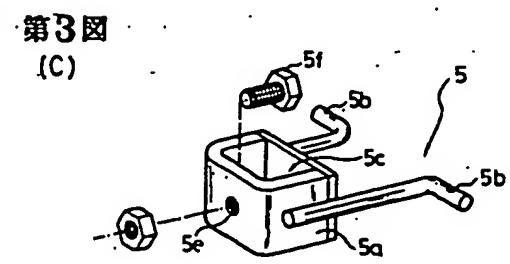
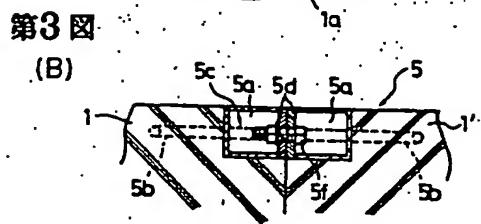
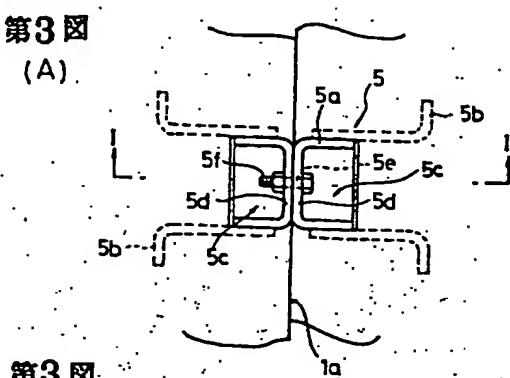
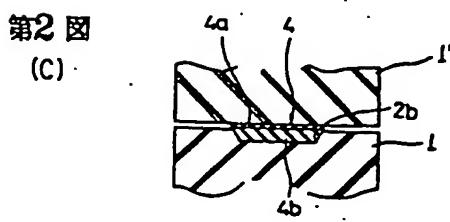
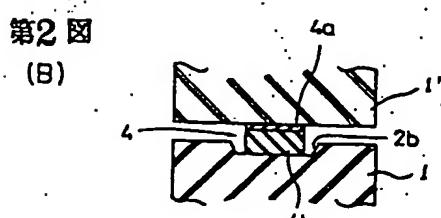
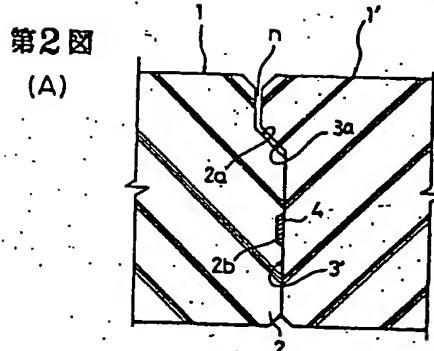
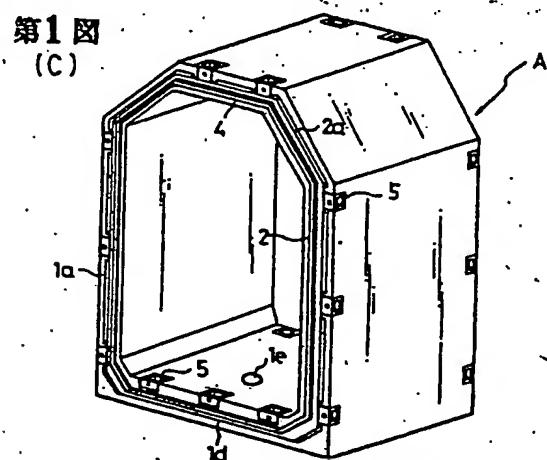
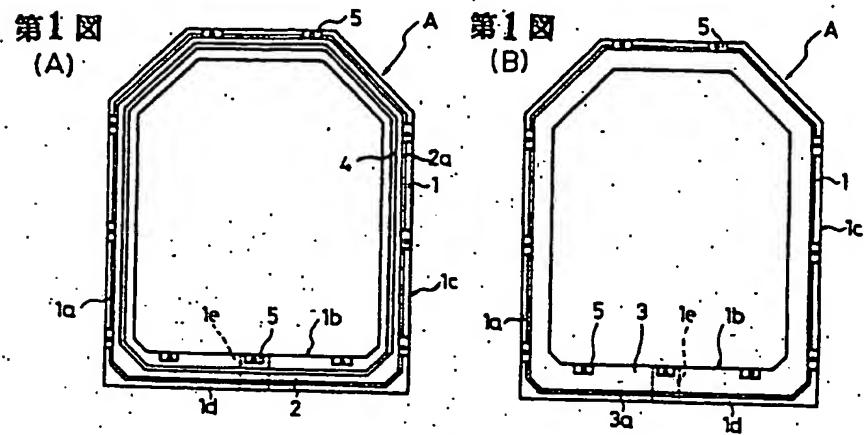
両接合面の一方にシール材が突設された嵌合突起を、また他方には嵌合凹部を夫々備えた筒状の連結ユニット本体を形成し、該連結ユニット本体の底壁にはグラウト注入孔を貫通し、前記両接合面の内縁部及び外縁部には上面に開口部を備え、且つ前面にボルト挿入孔を備えた函体と該函体の両側面に設けたアンカーボルトとによりなる連結材を該前面が前記接合面と面一状になるように埋設して形成したことを特徴とするダム用監査廊の連結ユニット。

図面の簡単な説明

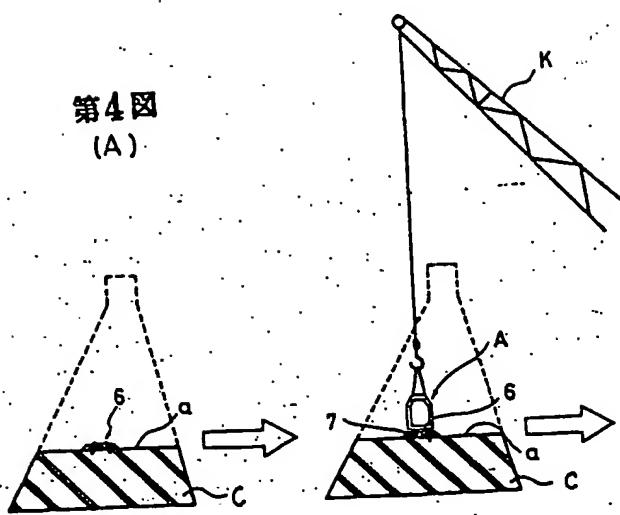
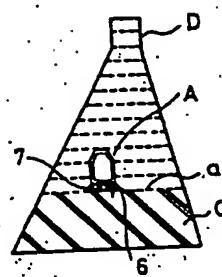
第1図のAは本考案のダム用監査廊の連結ユニットの正面図、同図Bは同背面図、同図Cは同斜視図、第2図のAは連結部の拡大断面図、同図Bは連結材を締付ける前のシール材の拡大断面図、

同図Cは連結材を締付けた後のシール材の拡大断面図、第3図のAは締付けた状態の連結材の拡大平面図、同図BはAのI—I線断面図、同図Cは連結材の斜視図、第4図のA, B, Cはダム用監査廊の連結ユニットを使用してダム用監査廊を構築する工程図、第5図はダム用監査廊の連結ユニットを設置した状態の断面図、第6図は同斜視図である。

また図中、A……ダム用監査廊の連結ユニット、1……連結ユニット本体、1a……接合面、1b……内縁部、1c……外縁部、1d……底壁、1e……グラウト注入孔、2……嵌合突起、3……嵌合凹部、4……シール材、5……連結材、5a……函体、5b……アンカーボルト、5c……開口部、5d……前面、5e……ボルト挿入孔。



BEST AVAILABLE COPY

第4図
(B)第4図
(A)第4図
(C)

第5図

